

質問

魅力ある女性政策は

町長

自由に意見が言える環境整備



大垣 照子 議員



助産師のケアつき育児サービス

質問

少子化問題は全国的にも本町でも顕著で、子どもを持ちたくない若者や女性が増えている。これは、結婚や出産への意識の変化や価値感の多様化、収入が低いことによる経済的な不安、教育費・

養育費等の負担等で、子どもを持つことが人生の絶対条件ではなくなっている。子育て政策と共にこの町に住みたいという魅力ある女性政策が必要。町長の考えを問う。

町長 自由闊達に女性^{かつたう}が自分の意見を表明できる環境づくりが必要。男女が共に

責任を負う意識の醸成も課題。妊娠期から子どもの成長期まで切れ目のない支援や、女性が子育てしやすい職場を増やし、地域と繋がる環境の推進、魅力ある町づくりに取り組む。

質問

今回の選挙を通し、目に見えぬ威圧感で自由に意見が言えず、息苦しさを感じている女性が多いことを知った。特に地方では、無意識の思い込みや偏見が若者や女性の流出に繋がり、この状況が続くと地域が衰退し、明るい未来は築けない。女性が自由闊達に発言できる環境を整え、ストレス軽減を図ること。女性が

地域で生きいきと暮らせる環境をつくるための政策は。

町長 そのことは重要で、性別や年齢に関わらず自由に意見表明できる社会風土

誰一人取り残さない行政運営について

質問

デジタル化もあり高齢者世帯では、付き合いが困難になり自治会を退会する人もある。退会後も会員時と同じ支援はできないか。

町長 デジタル化によって行政サービスの低下があつてはならない。情報伝達は、防災行政デジタル無線や、ジョーホーの告知放送等で届けている。自治会等でダメなら役場へ連絡を。



リラックスするお母さん
(玉峰山荘特別室にて)